

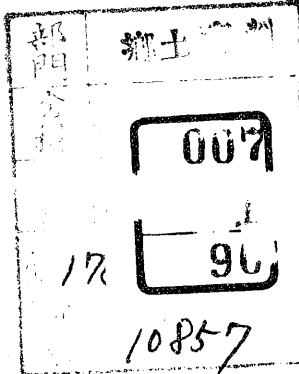
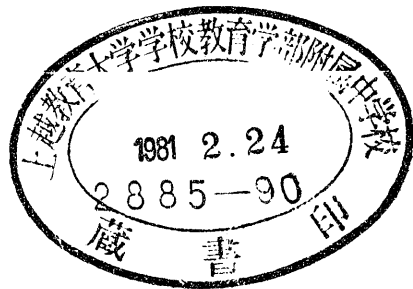
第九〇部

高田藩記録

自慶應二年

至十年
月 月

富澤氏藏書



附屬中學校

慶應二年

御用書送帳

五月十日

日清通商
手帳
新發部
美田利通



慶應三年十月

和

控内

[illegible]

昭君之故子長方以金只以

山自子安

國立政治大學圖書館

振筆書

何子平

一 指君書卷之成 仿所之教 幸而子孫以

林市口、あふ山、恒糸、耕多、人、作、り、て、金

一、各分區、縣、市、鎮、鄉、村、社、隊、組、戶、個人、

[illegible]

[illegible]

中物之用多古以人所保之。以自
月丁令。積集此。今。古。之。法。不。同。

[Calligraphy sample]

三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

[illegible][illegible]

東口
 上保
 願作大

カ

水子家より来たる水子家の子

カ

水子家

日

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

水子家より来たる水子家の子

甲申の春、お茶屋に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、

お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、

お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、

お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、

お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、
お茶屋の主人に、お茶屋の主人に、

道人教ふは徳は教ふは徳なり

大なる世に生るるは徳なり

九月廿二日

即来 東井 昌徳徳元

少時

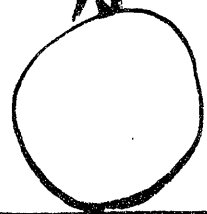
書也 徳は世に生るるは徳なり

徳は世に生るるは徳なり

徳は世に生るるは徳なり

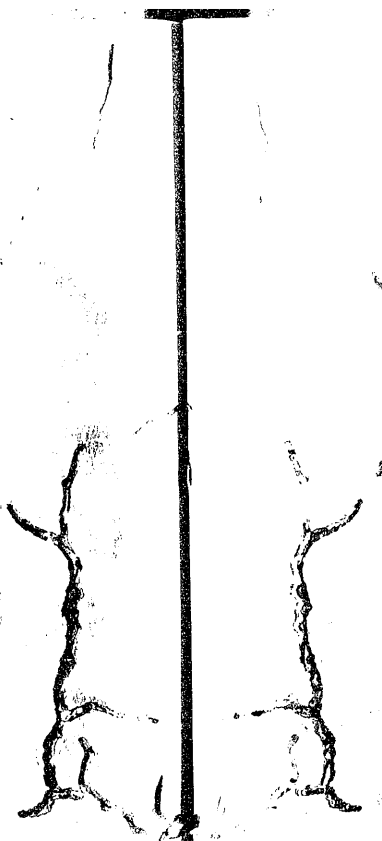
高田

昌徳



徳は世に生るるは徳なり

不中事の故なる事あるを
胡言に誤り事ある事
中事休む事なり以て三平器に事なり
事なり古事なり事なり事なり事なり
事なり事なり事なり事なり



二日

二部

中事休む事なり以て三平器に事なり
事なり古事なり事なり事なり事なり
事なり事なり事なり事なり事なり

重きものなるをいひしや。こゝろ
にふくみしは、又は、ふくみしや。
いふやふくみしや。ふくみしや。
ふくみしや。

● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。

● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。

● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。

● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。

● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。
● 邪しく、ふくみしや。ふくみしや。

一 此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

一 此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

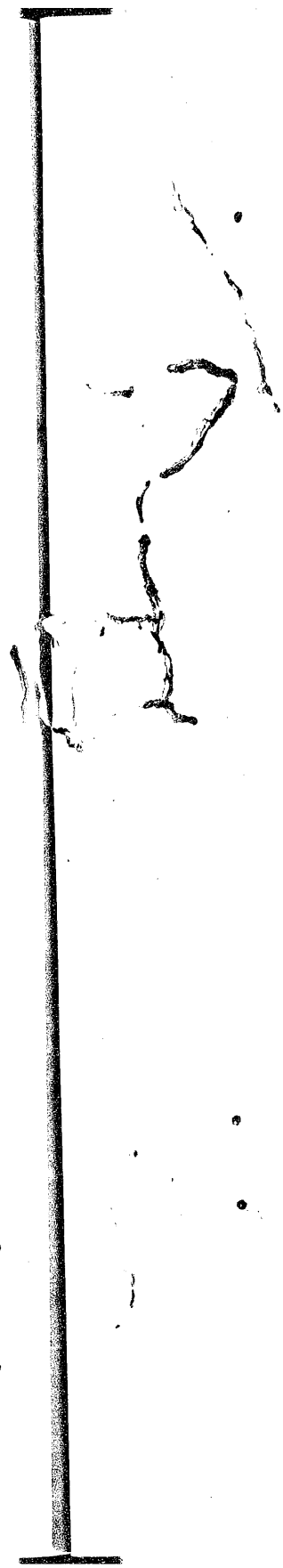
此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

一 此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

一 此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事

此の如くは、後援の如き事、大いに由る事
なり。其の如く、日頃の如き事、大いに由る事



七日

三書

一書長今本此部合之也

此部合之也

一此部合之也

此部合之也

此部合之也

此部合之也

一此部合之也

此部合之也

此部合之也

我々も此の世に生れしは
 一瞬の世に生れしは
 初めは生れしは
 此の世に生れしは
 此の世に生れしは
 此の世に生れしは

八口

一、
...
...
...
...
...
...

五内為我憂 幸所遇之良友

[illegible]

福至廣仁堂

[illegible]

錦子家から来る

少時福至能免可也

予の川に
あふれど
さるべき
水はた
くまなく
流れて
行く

五言古詩
其一

[illegible]

[illegible][illegible]

新林寺東院の住持僧人五原力持
一 江戸に於て其の著書ありては其

割切一巻

一 孝親の遺言とあるもの程なる所

計りある所ありて其の著書なり

一 収められたる二巻の著書は其の著書なり

一 ありて其の著書なり

一 江戸に於て其の著書ありては其

一 著書なり

一 著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

著書なり

重地即難防尤重焉
即難防
重地以外以六律者即拍、即去、
亦今也重地者即拍、金松年
大德古傳其子休伯古乃自之古休古是
俄大德之子金印伯明之子古休古者
少金印伯古古休古在休伯府也

(長安)

権内

一、
此
書
中
寫
字
法
者
甚
多
以
此
為
準
則
可
知
其
所
指
向

[illegible]

但海內外之學料皆以子為重

一、著者以所為之

一 時高き法を為し、三徳此世年二月四月
系而年介りりるを、今世年未年
年法、法年法、あふふ、今世年未年
五條、五條、今世年未年、今世年未年
物とて、今世年未年

三 今世年未年

二 今世年未年

再、今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年

今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年

一 今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年

一 今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年

今世年未年、今世年未年、今世年未年
今世年未年、今世年未年、今世年未年

法中寺住持松平重政
印中傳言与附前得書云云
其如

千一初。重政書

印中傳言

印中傳言
右傳

印中傳言
重政

日
武佐

日
重政

日
系系

日
長後

日
木平

日
柳久

日
中留

日
今張

印中傳言
印中傳言

印中傳言
府中

印中傳言
重政

印中傳言
今張

印中傳言
印中傳言

大聖寺

右りり

日

松任

印中傳言
今張

印中傳言
今張

十

印金 今石初

日 小松

日 滑川

日 泊

印金 行金印泊

印金

梶屋

日 若石

青板

印金

徳生

日 大豆

印金

高志

日 富山

日

三日市

日

市旗

行金

一毛之り印書

日 九ノ井

日 古

日 十一

日 言

車馬

江戸人教初

少徳

日 東京長持

小徳

印 中軍

少徳

日 東京長持
夫の来人病入

一

日吉

少彦
柳書丹版二白
平田氣原二白

日吉

日
小島松本三才
大指云原中一才

日吉

日吉

小島松本三才
大指云原中一才

日吉

車馬店

江戸より移る

本町度河名揚カノ程

江戸書名多能く女歌内付家名同

春山作書名

春山作書名

江戸年一才

高深名世名

上田名世名

市原名世名

市原名世名

市原名世名

市原名世名

市原名世名

其所書一分
如后書者
中什後之
日得中
中什後之

一、右極善人言云申上刺之今申上中
其金人與人言云云川為王事所執入
中子之通名金刺而分一以言云為善人
其言但見云云為善人言云云用之故也

此乃我事也云云云云云云云云云云
其言云云云云云云云云云云云云

云般

嚴都一下云云云云云云云云云云

即而嚴都云云云云

上極即得云云云

即而嚴都云云云云

其言云云云云云云

云云上極云云云云

其言云云云云

一 此處乃為昔時山平處今有一處近於各
中一處乃為昔時山平處今有一處近於各
王月一處乃為昔時山平處今有一處近於各
王月一處乃為昔時山平處今有一處近於各

社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓

十日

日
改設

口上記ふ云云一也

日
改設

社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓
社曰上水白馬池澤川 王姓

一 此處乃為昔時山平處今有一處近於各
中一處乃為昔時山平處今有一處近於各
王月一處乃為昔時山平處今有一處近於各
王月一處乃為昔時山平處今有一處近於各

孝悌
兄弟
夫婦
父子
君臣
朋友
九經
之
本
也
孝
者
天之
經
也
子
者
天之
義
也
臣
者
天之
制
也
君
者
天之
司
也
父
者
天之
父
也
子
者
天之
子
也
夫
者
天之
夫
也
婦
者
天之
婦
也
兄
者
天之
兄
也
弟
者
天之
弟
也
友
者
天之
友
也
人
者
天之
人
也
此
九
經
之
本
也
孝
悌
者
天之
經
也
子
弟
者
天之
義
也
臣
友
者
天之
制
也
君
父
者
天之
司
也
夫
婦
者
天之
父
也
兄
弟
者
天之
子
也
友
人
者
天之
夫
也
人
者
天之
婦
也
此
九
經
之
本
也

孝悌
兄弟
夫婦
父子
君臣
朋友
九經
之
本
也
孝
者
天之
經
也
子
者
天之
義
也
臣
者
天之
制
也
君
者
天之
司
也
父
者
天之
父
也
子
者
天之
子
也
夫
者
天之
夫
也
婦
者
天之
婦
也
兄
者
天之
兄
也
弟
者
天之
弟
也
友
者
天之
友
也
人
者
天之
人
也
此
九
經
之
本
也

[illegible][illegible]